理事長　祝辞

卒業生・修了生の皆さん、誠におめでとうございます。
本学を設置している学校法人佛教教育学園を代表して、一言お祝い申し上げます。

本法人は、百年余りの伝統をもつ学園でありますが、佛教精神のもと、時代と共に変化する社会ニーズに対応して、すべての人々に「学びの場」を提供し続けることを目指し、つねに教育機構を整えて参りました。法人設置校のひとつであります佛教大学は、仏教精神とりわけ法然上人のみ教えに基づく大学であります。この佛教大学が 119 名の卒業生・修了生を、送り出すことが出来ましたことは、本学同窓の諸先輩はもとより、本法人を設立している浄土宗関係者の、お力添えによるものと、感謝する次第であります。

さて、実社会に飛翔する皆さん方には、変化し流動して止まない、不安定で不透明な時代が待ち受けています。また、多数の犠牲者を出した、震災に思いを致し、記憶に留めて置くことも必要であります。
そして、どのような場面に出会おうとも、法然上人の御詠を思いだしていただきたい。「月影の至らぬ里は　なけれども　ながむる人の心にぞ住む」　必ず、みなさんを照らし示す明かりは、そこにあります。自己を見失わず、在学中に修得された「幅広い教養」と「深い専門的知識」、さらには本学園の教育理念として培われた「自身をみつめ、生かされていることを自覚する叡智」「他者を認め、他者に親しみ、他者を敬う勇気」「実社会を重視し、現実に直面して、揺るがない実践力」に支えられた、自らがもつ多様な能力を十分に発揮し、可能性とチャンスを生かし、なしうる最大限の努力をして、自己実現に向かって邁進してくださることを念じ、お祝いの言葉といたします。

平成 28 年 9 月 25 日

学校法人佛教教育学園
理事長　豊岡　鐐尓